

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



教室に参加して、改めて命の大切さを感じる事ができました。私はいつも「命、って見えるのかな。命、って形があるのかな。」と感じます。そのなぞが学習教室で解決されました。今近くにいる人、今話している人全員が大切な命のかたまりなんだと思いました。だから、一緒にいると楽しくて、その人が泣いていると自分も悲しくなってしまうんだということが分かりました。

「命」というものは、字だけだと重みをあまり感じませんが、自分の行動によって左右されてしまうすごく大切に重みのあるものだと感じました。私は小さなルールを守って、事件や事故のリスクを減らせるようにしたいと思います。大切な命を少しでも多く守れるように日々の心がけをがんばりたいです。

おかげさまで、命の大切さ学習教室を開いてくださりありがとうございました。

学校名

秋田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

金子 つばさ より

つばささん、命のことを考えてくれてありがとうございます。自分の周りにいる人が大切な命のかたまりという言葉に重みを感じました。また、小さなルールを守るという自分ができることを生活に活かすことはとても大事だと思いました。つばささんの思いをたくさんの人に伝えてほしいです。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今日は、講話をしてくださり、本当にありがとうございました。僕は講話を聞いてたくさんのお話を思いました。まずは命の尊厳、大切さについて深く考えました。僕たちは今、当たり前のように朝起きて、ご飯を食べて、また眠りについています。しかし、今日の講話を聞いて、それが当たり前なようで、当たり前ではない、幸せなことだと気づきました。大崎さんの娘さんの涼香さんはとても不運な飲酒運転により亡くなってしまったことを知って、いつか「行ってきます」「行ってらっしゃい」や「いただきます」「おかえり」という言葉のリレーが途切れるのは分らない、それが明日のかもしれないという危機感を持ちました。このようにこれから1日1日、1分1秒を大事に大事にしていきたい、そう思いました。

今日、大崎さんの娘さんを亡くしてしまわれた時の心情などを聞いて、僕はこれからの誓いの言葉を考えました。それは、「1つ1つのルールを守り、誰も傷つけない」という言葉です。ルールを守ることで事故などを発生させない、最大の要因だと考えたからです。この言葉や大崎さんから学んだことを胸に日々生活していきます。今日は本当にありがとうございました。

学校名

秋田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 柊 より

柊さん、誓いの言葉の実践も期待しています。目標を継続することは大変なことですが、学習教室で感じた思いを胸に、ルールを守る生活を続けてください。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は今回、大崎さんのお話を聞いて、自分の家族が天国へ行ってしまおうと人になにが怖いことか、飲酒運転という防げる事故で家族をなくしてしまおうと人になに悔しいか、心の底から感じました。事故当時の涼香さんの兄弟や涼香さん人になに怖かったか、自分が何もできずに妹がなくなってしまうのはとても悔しく、悲しいなと私もその立場になって考えて思いました。なので私は、「自分の命を大切にする。同じくみんなの命も大切にす」ということを心がけています。他の人の命を優先するのではなく、まずは自分の命を大切にす。周りの人に心配をかけないようにしたいです。日常の中では、通学時に、信号や車の行先をしっかりと見て歩き、自分の命を危険にさらすようなことはいないようにします。そして、みんなの命も自分と同じくらい大切にしたいです。自分の知らない人でも、その人には家族がいて、幸せのある日々を過ごしているという考えをもった上で、日々の行動や言動を気をつけています。

今回の教室で私は改めて、家族や友達、先生方の存在の大切さに気づくことができました。人間の人生はやり直しができなく、一度失なってしまうと、二度と会うことができずという悲しみを感じました。今日、自分で考えたことや思ったことを家族と語り、家族で安全に安心して毎日幸せな日々を送れるようにしたいです。今日はありがとうございました。

学校名

秋田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

ミヤマコト ヤメ
桐越 優芽

より

「自分の命を大切にす。同じくみんなの命も大切にす。」この心がけがとても素晴らしいと思います。

ぜひこれから、優芽さんが考えたことや思ったことを、ご家族にお話してくださいね。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今回の教室を通して命というものはどんなものにも
代え難い、儂いものであると感じました。当たり前のように
続いていた毎日が急に途絶えたや自分に置き換えて
考えてみるととても苦しいことであり気持ちの整理
がつかない程のことだと感じます。このような事故の
加害者は命は奪ったものの、自分とは無関係な人
だから、と少しは軽く見ていることがあると思います。ですが、
自分が同じ目に遭ったらどう思うか、家族がそうなら
どう思うかを考えてもらうことで事の重大さはより理解が
深まると思います。涼香ちゃんはきっと、天国で家族のみなさん
の姿を見守ってくれていると思います。生きられなかった
人の分までより強く生きるということが身に染みしました。
今回は講話をしていただき、ありがとうございました。

学校名

秋田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

伊藤 誠希

より

自分の命が思いもしない形で途絶えてしまうと想像すると、恐ろしくなります。誠希さんが書いてくれたように、そんな目に遭ってしまったらと考えて、事故は他人事ではないと意識することが、安全運転のためには重要です。ぜひ、誠希さんも周りの人にこの講演のお話をして、身近なところから「事故は他人事ではない」という意識を広げていってほしいと思います。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



この教室に参加してたくさんの思いが心と頭の中に浮かび、はじけるような感覚でお話を聞いていました。私は弟がおり長男です。気がいるという自覚を持って普段から色々なことに気を付けています。自分が間違えたことを弟には体験してほしいからです。もし自分の弟がある日、同じような事故にあてしまったら...と考えると苦しさや悔しさで胸がいっぱいになります。涼香ちゃんのお兄さんはどんな気持ちで生活していたのか、講話の中でお聞きしました。「もし自分が...」という思いは私も何度も味あったことがあります。ですが毎日そんな気持ちでいると生活できません。涼香ちゃんのお兄さん方はどれほど辛い気持ちだったかわかります。昔、母から言われたことがあります。「お母さんの願いは自分より早く死なないで。ただそれだけ。」当時、小さかった私は、何で自分の命よりその他の人の命を心配するのだらうと思いました。ですが、中学3年生になった今、ようやく親子にしかできない、親子にしか見えない、そういう絆があるんだなと思いました。もちろん、それは、大崎さんと涼香ちゃんの間にもあると思います。だからこそ、母は我が子を思い続けるんだなと感じました。自分の思い続ける子どもが突然いなくなってしまう、それが人の不注意だとするとどれだけ悲しいか辛いか悔しいか、たくさんの思いが伝わりました。事故という2文字では済まされることのできない出来事だと思います。加害者がいくら謝ってもいつまでも残る傷です。ですが、親子の絆が強いからこそ、このような気持ちになるのだと思います。そしてその強い絆は親子のどちらか片方がはるか遠い場所において、つながり、通じあえるものだと感じました。今日1日だけで、とても多くの大事な家族のことを学ぶことができました。本当にありがとうございました。

学校名

山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

あかがわ ながき
赤川 祐基 より

大崎さんのお話の内容を、赤川さんのご家族に置きかえて考えてくれて、ありがとうございます。大切な家族を誰かの不注意で奪われること、本当に「事故の2文字で済まされること」ではないですね。これからもご家族のことを大切に過ごしてくださいね。

